

同窓会報

NO. 32
1985.12

発行——山形県米沢市門東町1丁目1の72号 九里学園同窓会事務局 TEL 0238-22-0091



記念音楽会「N響アンサンブル」

今年も、もう師走になり、文字通り慌ただしい日々ですが、同窓生の皆様は、いかがおすごしでしょうか。

さて、昨今の新聞やテレビを見ますと、いじめの問題が連日取りあげられ、教育の根源を揺るがしております。しかし、これは学校教育のみの問題ではなく、広く大人社会の問題として、深く考えてみると必要があると思います。首先を向け合い責任をどうこう言っている時ではないと思うのです。

先日、ある会合に参加した時の話に「今の子供をダメにしているのは、家庭に一因がある。現在の家庭一般は、父性原理が後退し、母性原理が優先している。その結果、両者のバランスが崩れ、人格形成に欠陥を生じている。これが陰湿ないじめや自殺などの原因になっている。」という意味のことがあります。

こうであるとすれば、根は深いものであり、即効的な特効薬などあろう筈もありませんが、家庭や学校の集団の中に、父性・母性のバランスのとれた環境づくりが急務なのではないかと思うのです。

特に、家庭では、先ず喪失したと言われる父権を回復することではないでしょうか。これは、家の中に、厳しさ、逞しさ、絶対性などを取り戻すことであることはないかと思います。

これをやるには、父親の自覚もさることながら、母親をおいてないと思います。次代を担う人間教育のため今こそ女性として、母親としての存在と力を必要とし、求められている時は思うのです。学園も、明年的八十五周年を前に、より立派な女性教育をめざして、新しい教育課程と生徒集団づくりに懸命なところであります。

皆様 良いお年をお迎えください。

学園
近況

神原 省治

創立八十五周年に向けて輪を拡ろげよう

「深大な恩恵に感謝しつつ」

近ごろでは同窓生の皆さまにもすっかり定着いたしました「同窓生の集い」は、去る六月二十三日、ニューグランド北陽を会場に、

多数の同窓生の御出席をいただき、盛大に開催されました。

当団は、総会に引き続き、米沢女子短期大学の徳永幾久先生を講師にお迎えし、研修会が催されました。その中で先生は、世界各地に今も伝わり、作られている。母の大きな愛情のこもった品々を示されながら母性の偉大さを熱っぽく私たちに語って下さいました。その後、楽しく賑かな懇親会でした。各年代の方々がステージの上に集まり、思い出の歌を、若かりし頃を想いながら、出席下さった先生方を囲んで大いに歌いました。

来年度は母校八十五周年の記念すべき年です。なお一層、同窓生の糾を堅くし、次回もまた、この集いに多くの同窓生の方々が御参集されますように願つております。

徳永幾久先生の御講演を拝聴し感動しながら、人の為、世の為に真心で生きていこうとの信念を深くし、家業に専念して、楽しい日々を送っている毎日です。感謝。



同窓会総会に参加して

長井支部 昭和十八年卒業 江口 ヤエ

大東亜戦争も、だけなわであつた十八年の春、母校を巢立ち、小学校教師となつた私は、戦中戦後を通じ三十四年の歳月を、教職一筋に、真心のふれ合いを信じながら務め果たして幸に毎日を過しております。懐しい母校の校歌を口ずさみながら、新ためて人道的教育方針が忍ばれ、今更の様に、深大な恩恵に感謝しているものであります。

卒業して四十三年目、初めての同窓会への出席、面識もなく、不安とためらい、胸のときめきと、入り混つたまま会場の受付に急ぎました。係役員の方の親切な応待、心こもつた名札の用意、年令や、地域を越えた同窓生の好み、心から談り合える皆さんとの出会いが、こんなに楽しいものかという喜びで、幸一ぱいでした。事情の許される限り今後も出席したいと思います。

私はハープ独奏が良かつたと思いました。ハープの音色は感動的なものになりました。演奏会は大成功に終わりました。来年の音楽会も今年以上に素晴らしいものになることを期待致します。本当にありがとうございました。

ハープの音色に感動

記念音楽会
N響アンサンブル



昭和六十年卒業 築川 明美



「女性は今……」

—徳永先生の講演より—

私は、県の婦人連絡協議会の会長をしております。みんなの力を結集して住みよい人間社会をつくるのが裁縫ですがこれはす。私の子供は今大学で医者をしていますがその大学で私は、百歳の老人のようになってしまった子供を見せられました。もう世の中は、人間を正しく形さえもつくれなくなつたことを知らされたのです。価値ある人間を世におくるため女性は、家庭でも、社会でも正しい判断をして叫ばなければならぬとつくづく考えさせられました。

この韓国のふろしきや、中国のなげマリ、子供の帽子、そして上杉藩の花ぞうきんは、みんな女たちの手造りです。この女性たちは、母の心を刺繡で表わす技量をもつてているのです。今、日本人は、人並みの生活が文化だと思込んでいるのではないでしようか。列車の中で「今日のエサ、何にしようか?」といった学校の教師がいるが、人間の食事をエサといふことがあつていいのでしょうか。シャルワールやボシェットなどトルコの砂漠でこそ必要でその地で生かされているものが、日本人はファッショントとして身につけて満足しています。日本人としてこの地に生きる人としての主張がもう欠けてしまつてゐるのではないか。

このかすりは糠の目のおばあさんからいただいたものですが、マスに米を入れて一生食べていけるように、そして矢羽根を入れて、出世するようについて願いをこめたものです。またこれは、子守のヒモですが、ここにポケットがあります。そしてここにもマスとコマがあり、先の方には棚がデザインされています。この棚は悪者が入りこまないようになつたもので、もし入つたとしてもこの網でおさえられるようにと網がかかれ、さらに網の交差点を赤糸でぬつてあります。

作品一つ一つにこういう母の願いがこめられてゐるので、人間を育てるため、親はどう

ります。みんなの力を結集して住みよい人間社会をつくるのが裁縫ですがこれはす。私の子供は今大学で医者をしていますがその大学で私は、百歳の老人のようになつてしまつた子供を見せられました。もう世の中は、人間を正しく形さえもつくれなくなつたことを知らされたのです。価値ある人間を世におくるため女性は、家庭でも、社会でも正しい判断をして叫ばなければならぬとつくづく考えさせられました。

この韓国のふろしきや、中国のなげマリ、子供の帽子、そして上杉藩の花ぞうきんは、みんな女たちの手造りです。この女性たちは、母の心を刺繡で表わす技量をもつてしているのです。今、日本人は、人並みの生活が文化だと思込んでいるのではないでしようか。列車の中で「今日のエサ、何にしようか?」といった学校の教師がいるが、人間の食事をエサといふことがあつていいのでしょうか。シャルワールやボシェットなどトルコの砂漠でこそ必要でその地で生かされているものが、日本人はファッショントとして身につけて満足しています。日本人としてこの地に生きる人としての主張がもう欠けてしまつてゐるのではないか。

このかすりは糠の目のおばあさんからいただいたものですが、マスに米を入れて一生食べていけるように、そして矢羽根を入れて、出世するようについて願いをこめたものです。またこれは、子守のヒモですが、ここにポケットがあります。そしてここにもマスとコマがあり、先の方には棚がデザインされています。この棚は悪者が入りこまないようになつたもので、もし入つたとしてもこの網でおさえられるようにと網がかかれ、さらに網の交差点を赤糸でぬつてあります。

作品一つ一つにこういう母の願いがこめられてゐるので、人間を育てるため、親はどう

んなに心くばりをしたかがわかります。ものとものを縫い合せて新しい世界をつくるのが裁縫ですがこれは心と心をつなぐことでもあります。自分の頭で、手で、今、何が出来るか考えよう、そして子供を産み育てる女性として今日からフレッシュに自分をつくりあげていきたいものです。

東京支部だより

当番学年代表
安藤君子

住所 川口市飯塚四一三二号一二〇
電話 ○四八二一五六一三〇四〇

来年の日期 六月十四日 土曜日
場所 精養軒(上野)



去る十一月十
四日、婦人の地位

位向上に貢献した人に対する総理大臣表彰が東京九段会館で行なわれましたが、全国二十五人の中の一人に、竹田会長さんも含まれていました。お聞きするところによれば竹田会長さんは、以前から農家の一主婦として、農村社会での婦人の立場や役割を深く認識されて活躍されてこられました。

四十年に山形県農協婦人組織協議会長、四十七年に東北・北海道地区農協婦人組織協議会長、そして五十五年からは全国農婦人組織協議会長の要職に就かれて、全国の農協婦人二百六十万人のトップとして幅広い活動をしてこられました。

その御業績の中には、戦後復興の基盤となつた国民貯蓄運動に参加して、婦人名義の「米一俵貯金」を提唱されたり、全国会長時代には「農協婦人部三ヶ年計画」を策

置賜地方が素晴らしい緑の季節に、今春卒業して、関東地区に就職、進学した、方々と関東地区在住の多くの卒業生と同席して総会を行いました。母校からは、田中トシ子、遠藤文子両先生、他、今春卒業生担任された先生方十名程出席されました。

母校の近況、そして卒業生の近況など報告され、楽しいひとときを過しました。

会長さんの益々の御健勝をお祈り申し上げます。

—総理大臣表彰に輝く—

定。さらにアフリカ飢餓救済募金運動やアメリカ、ブラジルの農村婦人と交流するなどの国際的な活躍もされました。また、児童福祉や青少年の健全育成の面でも精力的な活動をされており、こうした数々の御業績を知るにつけ、この度の受賞は至極当然のことのようにも思われます。私たちは常日頃、随分御多忙なお方でいらっしゃるとは思っていましたが、こんなに素晴らしい御活躍をなされているとは存じていませんでした。とかく華々しい婦人運動の中で、会長さんのような地道な活動こそ、着実に婦人の地位を向上させるに繋がるのだろうと思います。会長さん自らが、会員および在校生の「生きる指針」を示された思ひがして、心から嬉しく存じました。

現代こそ父母の慈愛を

「仏説父母恩重経」を後輩へ贈る

昭和二十年入学
有志の方々から、
後輩へ笹原大餐先生
の筆による「仏説父母恩重経」が
寄贈されました。

私達は昭和二十年に母校に入学し、笹原大餐先生が担任でございました。先生は学校を退職され、東京の検察院にお勤めになりました。先生と私達は度々のクラス会を通して親交を温めて参りました。先生は昨年検察院を定年退職なさいましたので、私達は何かお祝いを申し上げましたところ、母校に書額を寄贈する事となり、去る六月二日母校において在校生代表の方に贈呈致しました。

先生は書家であり、写経研究家の第一人者でございます。現代は親が子に阻害されがちであると共に母性の欠如の時代とも言われており、「仏説父母恩重経」は女性としての先輩が後輩への贈り物として最適のものであるとのお考えで、紺紙に金字をもつてお書き下さいました。それは父母の慈愛をお示しになり更に父母の恩に報いる道をお論じになつたお経でございます。

多少なりともお役に立つていただければ幸せに存じます。

昭和二十四年卒業

行方 絹代



私は、その方々にお会いするとすぐ「あなた方は敗戦前後の生徒さんたちですね。授業もろくに受けられず、学校や教師をうらみこそれ、感謝されることなど思っても居ませんでしたのに、そのあなた方がこうして学校や先生を大切にして下さるなんて、勿体ないことです」と申したのでした。彼女らは異口同音におっしゃいました。「たしかに苦しい時代を生きて来ました。然し、だからこそ父母の悲しみ、恩の重さ、先生や学校の有難さが身に沁みるのです」。恵まれすぎる時代といつてよい今、家庭内暴力とか校内暴力とかが大手を振つているのと考え方を合わせて、やはり「人の心」というものは、苦悩の中でこそ感得されたるもの、彼女らはかつての日々、誰にもまして苦しかったからこそ、本物の愛を知り得たのだと思いました。

子をもつ父母の苦しみはいつの世にも変わりはありません。その父母の慈愛に馴れ、はては老いぼれたその父母をないがしろにする罪は、一切の如來、金剛天、五通仙もこれを救うことができる、地獄、餓鬼、畜生道に墜ちるのだとこの経は述べています。老人問題の深刻となつた現在、心情的にも制度的にも、その根本的解決のいとぐちを見る思いです。

「父母恩重経」扁額の寄贈を受けて
学校長 九里茂三

皆様お久しうござります。
お変わりありませんか。お元気でお休みのことと存じます。月日の過つはほんとに早いものですね。私も相變りなく、きやしやな身体にムチ打ちながらも、元気に若い生徒に囲まれて頑張っております。私は三十三年の春から本校にお世話をになりました。その時は皆様との年令差もなく、教えることにまだ自信も持てずに、他愛もない話しへ花を咲かせながら教壇に立つていたのではなかつた時代、教科書が黒々と墨で染められるほど、従来の価値観がすたずたに切り捨てられた時代の娘さんたちでした。

私は、その方々にお会いするとすぐ「あなた方は敗戦前後の生徒さんたちですね。授業もろくに受けられず、学校や教師をうらみこそれ、感謝されることなど思っても居ませんでしたのに、そのあなた方がこうして学校や先生を大切にして下さるなんて、勿体ないことです」と申したのでした。彼女らは異口同音におっしゃいました。「たしかに苦しい時代を生きて来ました。然し、だからこそ父母の悲しみ、恩の重さ、先生や学校の有難さが身に沁みるのです」。恵まれすぎる時代といつてよい今、家庭内暴力とか校内暴力とかが大手を振つているのと考え方を合わせて、やはり「人の心」というものは、苦悩の中でこそ感得されたもの、彼女らはかつての日々、誰にもまして苦しかったからこそ、本物の愛を知り得たのだと思いました。

子をもつ父母の苦しみはいつの世にも変わりはありません。その父母の慈愛に馴れ、はては老いぼれたその父母をないがしろにする罪は、一切の如來、金剛天、五通仙もこれを救うことができる、地獄、餓鬼、畜生道に墜ちるのだとこの経は述べています。老人問題の深刻となつた現在、心情的にも制度的にも、その根本的解決のいとぐちを見る思いです。

大志田万亀子

皆様お久しうござります。
お元気でお休みのことと存じます。月日の過つはほんとに早いものですね。私も相變りなく、きやしやな身体にムチ打ちながらも、元気に若い生徒に囲まれて頑張っております。私は三十三年の春から本校にお世話をになりました。その時は皆様との年令差もなく、教えることにまだ自信も持てずに、他愛もない話しへ花を咲かせながら教壇に立つていたのではなかつた時代、教科書が黒々と墨で染められるほど、従来の価値観がすたずたに切り捨てられた時代の娘さんたちでした。

私は、その方々にお会いするとすぐ「あなた方は敗戦前後の生徒さんたちですね。授業もろくに受けられず、学校や教師をうらみこそれ、感謝されることなど思っても居ませんでしたのに、そのあなた方がこうして学校や先生を大切にして下さるなんて、勿体ないことです」と申したのでした。彼女らは異口同音におっしゃいました。「たしかに苦しい時代を生きて来ました。然し、だからこそ父母の悲しみ、恩の重さ、先生や学校の有難さが身に沁みるのです」。恵まれすぎる時代といつてよい今、家庭内暴力とか校内暴力とかが大手を振つているのと考え方を合わせて、やはり「人の心」というものは、苦悩の中でこそ感得されたもの、彼女らはかつての日々、誰にもまして苦しかったからこそ、本物の愛を知り得たのだと思いました。

子をもつ父母の苦しみはいつの世にも変わりはありません。その父母の慈愛に馴れ、はては老いぼれたその父母をないがしろにする罪は、一切の如來、金剛天、五通仙もこれを救うことができる、地獄、餓鬼、畜生道に墜ちるのだとこの経は述べています。老人問題の深刻となつた現在、心情的にも制度的にも、その根本的解決のいとぐちを見る思いです。

大志田万亀子

皆様お久しうござります。
お元気でお休みのことと存じます。月日の過つはほんとに早いものですね。私も相變りなく、きやしやな身体にムチ打ちながらも、元気に若い生徒に囲まれて頑張っております。私は三十三年の春から本校にお世話をになりました。その時は皆様との年令差もなく、教えることにまだ自信も持てずに、他愛もない話しへ花を咲かせながら教壇に立つていたのではなかつた時代、教科書が黒々と墨で染められるほど、従来の価値観がすたずたに切り捨てられた時代の娘さんたちでした。

私は、その方々にお会いするとすぐ「あなた方は敗戦前後の生徒さんたちですね。授業もろくに受けられず、学校や教師をうらみこそれ、感謝されることなど思っても居ませんでしたのに、そのあなた方がこうして学校や先生を大切にして下さるなんて、勿体ないことです」と申したのでした。彼女らは異口同音におっしゃいました。「たしかに苦しい時代を生きて来ました。然し、だからこそ父母の悲しみ、恩の重さ、先生や学校の有難さが身に沁みるのです」。恵まれすぎる時代といつてよい今、家庭内暴力とか校内暴力とかが大手を振つているのと考え方を合わせて、やはり「人の心」というものは、苦悩の中でこそ感得されたもの、彼女らはかつての日々、誰にもまして苦しかったからこそ、本物の愛を知り得たのだと思いました。

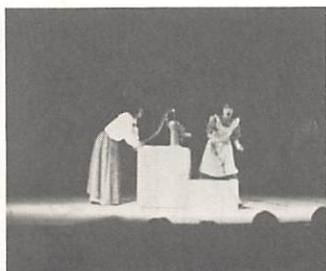
子をもつ父母の苦しみはいつの世にも変わりはありません。その父母の慈愛に馴れ、はては老いぼれたその父母をないがしろにする罪は、一切の如來、金剛天、五通仙もこれを救うことができる、地獄、餓鬼、畜生道に墜ちるのだとこの経は述べています。老人問題の深刻となつた現在、心情的にも制度的にも、その根本的解決のいとぐちを見る思いです。

大志田万亀子

皆様お越し下さい。



青春!



奇跡の人の舞台から演じるサリバン先生

午後七時母校前の招湯苑において、第一回学年会を開きました。学年会の話がでて、それで今月末にと早急に決め、各組一名づつの世話を選び集まつてもらい話をし、もう一度度集り、出席者や当日の内合わせをしたところ、多数の出席者で嬉しい悲鳴、会場がいっぱい出欠の移動のたびハラハラし、世話人の席は別室になつた。先生方は孝次郎先生筆頭に十二名、総勢七十七名。いよいよ当日、懐かしい顔、顔、もう二十二年以來という人ばかり。アーチーの人、オー、しばらくと、ワイワイガヤガヤ凄まじく、残暑に加え熱気で皆さん汗ビックショリ。先生方一人一人の心の

舞台上に夢をかけて

昭和五十五年卒業 長谷川 輝美

りに時間を掛けられないという事にもなります。

しかし私は、劇団へ入団してからというもの毎日が楽しくなりません。元々好きな事だからかもしれません、趣味に没頭できるといふ事は、生活に活気が満ちて、趣味以外の日々の生活にも一生懸命になれるという事のようです。だから、明日への希望とか期待とか「夢」を持つ事ができます。生きているという充実感が持てます。それが私の場合は演劇であったという事で、舞台の魅力は、到底一口では説明できない魔力にあります。それを取り付かれたら仲々やめられません。

いつかは満足できる舞台を……！

それを夢みて歩き続けたいと思います。

一度



横浜の専門学校を卒業し、帰郷して二年が経ちました。現在は、某病院の保育所の保母として勤め、アマチュア劇団『ヌーボー』の団員の一人です。劇団との出会いは昨年の秋の事で、公演一ヶ月前に入院した役者の代役として依頼されたのが始まりでした。それまでの会社と家庭の住復で暮れていた毎日が一転してしまいました。

週二回の僅か二時間半の中でのサークル活動は、決して楽ではありません。仕事の関係で、全員が時々通りに集まれないのは常の事ですし、それだけ充分に満足のいく舞台作



懐しい顔・顔……

昭和38年卒業学年会

私達、三十八年度卒業生は、八月二十五日午後七時母校前の招湯苑において、第一回学年会を開きました。学年会の話がでて、それで今月末にと早急に決め、各組一名づつの世話を選び集まつてもらい話をし、もう一度度集り、出席者や当日の内合わせをしたところ、多数の出席者で嬉しい悲鳴、会場がいっぱい出欠の移動のたびハラハラし、世話人の席は別室になつた。先生方は孝次郎先生筆頭に十二名、総勢七十七名。いよいよ当日、懐かしい顔、顔、もう二十二年以來という人ばかり。アーチーの人、オー、しばらくと、ワイワイガヤガヤ凄まじく、残暑に加え熱気で皆さん汗ビックショリ。先生方一人一人の心の

こもつたお話、気持ばかりの記念品、自己紹介、世話人の花笠踊り等、話に夢中になつて、あつという間に終了。皆さん心残りで、それでは二次会とフェアレディーへ直行。先生方六名、計五十二名ゾロゾロと、ビッシリつめて、歌つたり踊つたり、豊嶋先生の独唱や今田先生のカラオケ、他の先生方の熱演に大拍手、気がついたら十一時半に。楽しかった、又してなあとと言う言葉に、アーチーを組んでた世話人も感無量でした。会計後、予剰金ができ、同窓会へ二万寄附、残りを写真代と、とどこおりなくおわすことができました。懐かしく楽しい夏の夜でした。

(桜井多記子)

「今、改めて」 ワифを語る

丸山信雄

結婚して13年、今になつてよく仲良く来たものだと改めて思う。私は亭主関白の方だと思つてゐる。いわゆる横の物を縦にもしない典型的な夫なのである。着る物にしろ食事は勿論の事、箸と茶碗とコップしか持たないのである。それでも彼女は今までつき合つてくれている。子供も三人授かり核家族での子育てで大変だった。私の仕事は時期的に忙がしく、朝早くから夜遅くまでの毎日で子供の小さい頃は彼女が三人の子供を風呂に入れなければならなくて、夏はゆで上がり、冬は温まるひまがなかつたりでなかなか大変な思いをしたと思う。振り返つてみると自分の楽しみや身なりなどかまわざ良くやつてくれてありがとうの一言思ひでなかなか大変な思いをしたと思う。振り返つてみると自分が面と向つてはなかなか言えないものがある。どう言う訳か我家の茶の間には沢山人が集まる。商売のせいだと言えばそれまでだがそればかりではない。彼女には好かれる何かを持つてゐるのではと思う時がある。これから先も今以上に苦労をかけるかもしれないが、少しづつ自分の楽しみの時間を見つけて、もち前の明かるさで頑張つてもらいたいと思っている。四十一年卒業(旧性片桐栄美子)

只今、名簿作成中です



名簿

雨の日も風の日も

名簿は六十一
年九月完成を目指してお
ります。名簿は一冊二
千円、送料五〇〇円で
ありますので、母校事
務室までお申し込み下
さいますようよろしく
お願い致します。

御協力下さい

来年は母校創立八十五周年を迎えようとして
おります。卒業生の数も二万人を越す大所帶
となつてきました。置賜をはじめ県内外の至
る所で活躍していらっしゃる様子は、本当に
心強いことです。ところで、この様に大所帶
となりました同窓会ですが、苦労して作つて
下さいました、前回の名簿から早くも八年が
経過し、時代の流れと共に郵便番号や、電話
番号の需要が高まり、書き加えの必要が出て
きました。その後会員になられた方々の名簿
を加え今回はより一層充実した名簿の完成を
目指すことになりました。

昭和四十一年卒業から昭和六十年卒業まで各
クラス一名又は二名の方に実行委員をお願い
し、八月四日に母校西校舎にお集まりいただき、
第一回実行委員会を開きました。母校事
務室にお勤めの遠藤文子先生より名簿作りの
苦労話や具体的な調べ方のお話ををしていただき、
お互いより正確な名簿作りを誓い合つた
ところでした。四十年前に卒業された方々
についても、クラス毎に実行委員をお願いし、
積極的にすすめております。会員の皆様も実
行委員の方から連絡ありましたらご協力して
下さいますよう、お願ひ致します。

昭和60年度予算 九里学園同窓会

■収入の部

繰 越 金	785,620
入 会 金	287,000
終 身 会 費	861,000
仮 受 金	1,460,000
雑 収 入	10,000
合 計	3,403,620

■支出の部

運 営 費	(453,620)
事 務 費	50,000
通 信 費	50,000
会 議 費	50,000
慶 弔 費	70,000
人 激 励 費	150,000
雜 費	70,000
事 業 費	13,620
会 報	(970,000)
会 証	320,000
音 楽 会	20,000
研 修 総 会 費	0
名 簿 準 備 金	350,000
予 備 費	250,000
基 本 金	50,000
繰 越 金(仮受金)	1,460,000
合 計	3,403,620

計報

花

西村操

編集後記

平吹美枝様 昭和十二年専攻科卒業
同窓会赤湯支部の副支部長を経て本部
の副会長を永年勤めていただきました。

堤みづ様 昭和二十二年一部卒業
クラス代表の役員で永年お働き下さい
ました。

花は黙つて咲いている
花とつき合い
花を愛して

いま私は

花にいたわられて

生きている

岡村みち様 昭和三年卒業
大谷とみ様 昭和十一年卒業
高橋幸子様 昭和四十二年卒業
登坂ちえ様 昭和四十五年卒業
謹んで御冥福をお祈り致します。

詩集「花は黙つて咲いている」より

編集後記

西村操
九里裁縫女学校 昭和二年卒業
野火の会会員

第一回出版「菊畠の中」 昭和51年
第二回出版「花は黙つて咲いている」 昭和60年

現住所 〒一八一 東京都調布市深大寺東町
六一一三一一〇

年暮もおしせまつてしまいりました。
十一月中に発行したいと思っておりま
たが、今頃になり申し訳なく思つており
ます。今回は多くの年代の方からご寄稿
していただき、ありがとうございました。
来年は創立八十五周年です。年ごとに
充実し、発展する母校を祝し、私達もせ
ひ再会致したいと思います。